

# 算数学習サポート・プログラム 「算数トライアスロン」

公益財団法人 日本数学検定協会



## プログラム概要

このプログラムは、いくつかのコーナーを設け、そのコーナーごとに算数の問題(パズルや迷路問題など)を用意し、学習者が各コーナーに置かれた問題を解いてまわり、全てのコーナーをクリアするという内容です。

対象者	小学生	実施可能エリア	全国
テーマ	論理的思考(算数)	対応可能日	平日授業、平日放課後、土曜日、日・祝日や夏休み等の長期休暇
費用	要相談	主な開催場所	学校、社会教育施設(体育館のような広い施設)
所要時間	90分 ※60~90分でアレンジ可能	対応条件	条件をご相談ください 机、椅子等備品が必要です。

## 活動概要

### 【活動のきっかけ】

算数の学習はとかく、座学になりがちです。しかし、小学生、とくに低学年の子供たちを長い時間座らせて学習させるのはたいへんです。

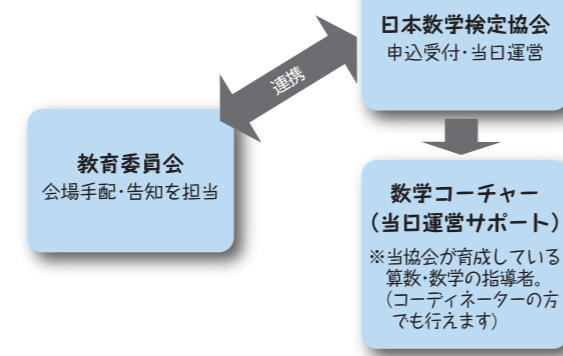
そこで、子供たちに飽きさせず、身体を動かしながらさまざまな算数の問題にチャレンジしてもらうプログラムとして本イベントを開発いたしました。



### 【実施までの流れ】

- <平成27年12月>教育委員会と次年度の  
実施回数・時期について打合せ
  - <平成28年1月>同教委と内容・広報の時期について打合せ
  - <平成28年4月>同教委と確認書の取交わり
  - <平成28年7月>開催2か月前に、同教委から広報・告知  
(広報紙による告知、学校を通じた募集チラシ配布)
  - <平成28年8月中旬>開催2週間前に募集締切り  
(本講座についての申込み先は当協会、通常は主催団体)
  - <平成28年9月>  
開催(午前の部・午後の部に分けて実施  
本講座は有料で行っているため、参加費500円を当日徴収)
- ※PTAや地域の方々の主催であれば、打合せから実施までに要する期間は4~6か月で十分です

### 【実施体制】



## 活動の特長・工夫

- ①問題内容を工夫**  
「また計算するの?」と思わせない問題を用意。
- ②手法を工夫**  
「飽きさせない」ために、ひらめきやじっくり向き合わせる工夫。
- ③達成感を得るための工夫**  
「誰にでも簡単」にその場で採点が行える。

体育館などの広いスペースに、3~4つのコーナーを設け、各コーナーに用意された問題に子供たちがチャレンジしていきます。全てのコーナーをいかに早くクリアするか、もちろんじっくり解いて回るのもOKです。チャレンジしてもらう算数の問題は、授業で学習する計算問題ではなく、パズルや迷路など、日ごろあまり学校で学習しない内容のものを中心としています。既習内容に影響なく、また発達段階に応じた問題を用意していますので、各学年に対応できます。

## プログラム内容

### 【ねらい】

- 算数の学習は、じっくり問題に向き合うことが大切です。しかし、既に算数アレルギーのある子供は集中して学習できずにいます。そこで、日ごろの学校の授業とは違うパズルや迷路などの問題に挑戦させることによって、集中力を養います。
- ひらめきを大切に、できた喜びを味わいます。
- 算数への興味喚起につなげます。

### 【進行概要(時間・内容)】 90分

#### STEP1 (10分)

#### ルールの説明

4つのコーナーの全ての問題にチャレンジすること、どのコーナーからチャレンジしても構わない旨を伝える。

レクチャー

#### STEP2 (60分)

#### 競技

安全に配慮する。  
各コーナーでは、学年に応じた問題を手渡すよう留意する。  
どうしてもクリアできない子供に対しては、難易度を下げた問題に再チャレンジさせる。

ワーク

#### STEP3 (20分)

#### 表彰

全てのコーナーを早くクリアした子供には学年ごとに賞状をわたし、参加者全員には「体験学習証」を贈呈する。表彰後、アンケートを回収する。

評価



問題

ルールにしたがって、線を引きましょう。

<ルール>  
①同じ線を、たてとよこの線で結びます。  
②線はマスのあるマスを通ります。  
③いちど通ったマスは通れません。  
④線が入っていないマスはぜんぶ1回だけ通ります。  
答えは右の<答え>にかきましょ。

<例>

スタートからゴールまで、○の数の数をたしながらすすみます。いちど通った○は通れません。ゴールしたときの答えは、いくつですか。

(1) たした 答えが いちばん 小さい なるように すすみます。

スタート 1 2 3 4 5 6 7 ゴール

座学

答え

### 児童の声

いろんなこと、いろんな知識を身につけられてとってもとっても嬉しかった。

### 児童の声

今日、この算数トライアスロンに参加してちょっと算数が好きになった。

### 保護者の声

算数に対する興味をひくイベントとしてたいへん良いと思います。今後も継続してください。

### 本プログラムのポイント

- クイズやゲームで算数に興味・関心を持つ。
- 課題に対する集中力を育む。
- 何度もクイズに挑戦するチャレンジ精神を育む。

### 今後の展望

私たち日本人には、「算数・数学は公式を覚えて計算するもの」というイメージが強くあります。当プログラムが示すようにそれだけが算数・数学ではありません。当協会の開発したプログラムは、コーディネーターの方々のみでも行えますので、ぜひこのような活動が全国に広がればと思います。

### 企業・団体連絡先:

公益財団法人 日本数学検定協会

〒110-0005 東京都台東区上野5-1-1 文昌堂ビル6階

TEL: 03-5812-8340 e-mail: group\_information@su-gaku.net